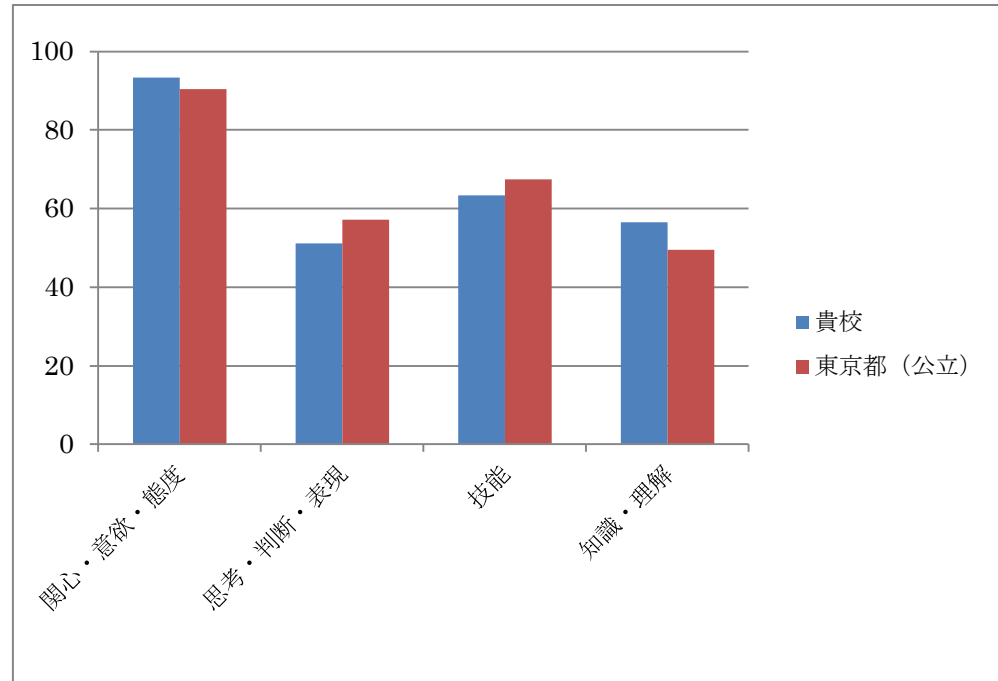


理科（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

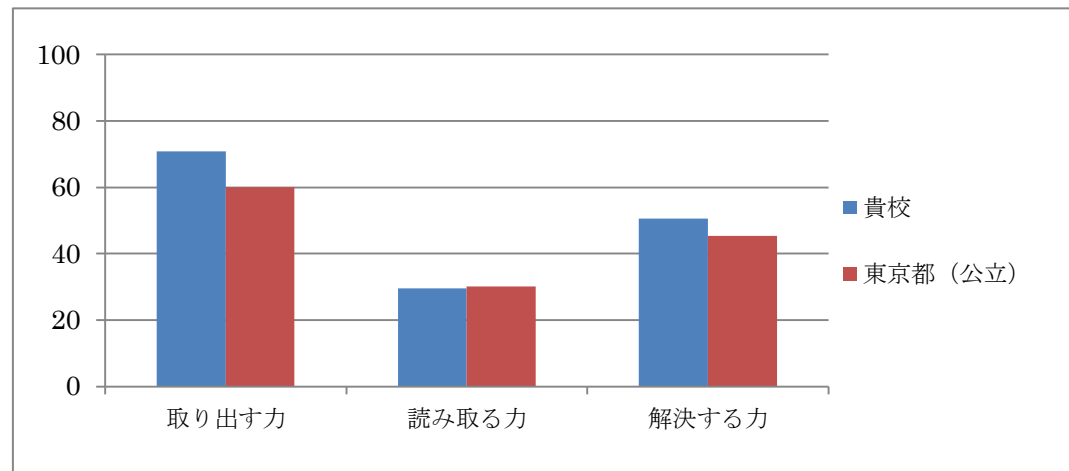
1. 観点別の正答率についての分析

(1) 理科A：教科の内容



- ① 関心・意欲、知識・理解については都平均を上まわっている。
- ② 思考力・表現、技能については都平均を下回っている。

(2) 理科B：読み解く力に関する内容



- ① 全体的に都平均を上回ることができた。
- ② 読み取る力は都平均並みである。

2. 結果からの考察

(1) A：教科の内容

全体正答率は都平均を上回ることができた。今後も伸ばせるよう授業を行いたい。

(2) B：読み解く力に関する内容

都平均を上回ることができた。今後も「主体的に考える活動」を増やし、より高めるようする。

3. 指導改善のポイント

(1) A：教科の内容

分かりやすい授業を実現し、知識・理解を高め、「主体的に考える活動」を増やし、思考力が高まる授業改善をしていく。

(2) B：読み解く力に関する内容

授業内にグラフやデータ分析をする時間を増やし、読み解く力を伸ばしていく。